

全国学力テストの結果について

市長／残念だ。



吉田幸一郎 議員

議員 第Ⅰ期総合計画が、平成29年度で終了する。これからの、10年間の、南島原市のまちづくりの方針である、第Ⅱ期総合計画策定にあたっての思いは。

市長 新計画では、まちづくりの基本理念を「一人ひとりの『しあわせ』のためにみんなで進めるまちづくり」とした。市民一人ひとりが、思い描く幸せは、様々なあるが、そのような個々の考えを尊重しないまま、行政が一方的にまちづくりを進

めても意味がないと思っ
ている。そういうことで、
市民の皆さんの多様性を
大切にしながら、市民と
行政が一緒になって、ま
ちづくりを進めなければ
ならないと、これが基本
理念に込めた思いだ。

議員 新計画を策定する
には、第Ⅰ期総合計画の
評価、進捗状況を検証し
た上でないと、策定され
ないと思うが、評価につ
いてはどうか。

副市長 計画全体で、1
00%以上達成したのが
約45%、90%以上達成し
たのが17%、80%以上達
成したのが13%。この80
%以上を総合すると大体
76%で、8割近い項目で
達成したというふうに評
価している。

教育関係について

議員 本年4月に実施さ
れた、小中学校の実力テ
ストの結果が、本市は全
国平均より上回る科目が
なかった、と新聞で掲載
されていたが、市長、教
育長はどのように感じら
れたのか。

市長 今回全国学力テス
トの結果が、全国平均の
正答率を下回ったという
ことは、市長としては残
念に思っている。

教育長 中学校の数学で
は、B問題において改善
傾向が見られ、活用する
力が伸びている、という
面があるものの、大変残
念な結果であったと認識
している。小中学校にお
いて、さらなる授業改善
を行い、子供たちの学力
を向上させる必要がある
と考えている。

議員 教育も、人口減少
対策や、市活性化にも緊
がって行く。是非、学力
向上対策と、今後の総合
計画に則った、まちづく
りを行って頂きたい。

作業部会・協議会の意義は

市長／新しい基準の給食センターを造って、子供達に配食をする。



林田久富 議員

教育行政について

議員 新学校給食センタ
ー建設計画①これまでの
流れと、いまの現状はど
うなっているのか。②基
本実施設計業務委託の中
で、作業部会及び協議会
を設置する意義は。③協
議会の冒頭挨拶で「作業
部会では意見は聞かずに
き流し、実際の決定は協
議会で進めていく」と発
言されたと聞くが意図は。
④責任の所在は。⑤学校
給食会の意見が聞き入れ
てもらえないと聞くが。
⑥教育委員会が提示した

建設予算では足りない懸
念もあるが。⑦こういつ
た事を踏まえ市長・教育
長は今後どのように進め
られていくのか。

教育長 ①現在の6カ所
の給食センターは、基準
を満たしていないので1
カ所に集約し、新基準に
合った給食センター計画。

②作業部会の意義は実務
的な事項を協議する場、
協議会の意義は作業部会
で方向性を出したものに
ついて、予算的なものを
加え検討する場。④責任
はすべて教育委員会にあ
る。⑥その当時はそれで
できるという思いをして
いた。改めて甘かった。

⑦市学校給食会、栄養
士部会、建設と一丸とな
って、新基準の給食セン
ターの建設を進めたい。
建設部長 ③無視すると
いう意味ではなく、作業
部会で決定できないよう
な困難な意見や、事柄に
ついては協議会で決めて
いく。

教育次長 ⑤建設部と、
教育委員会の連携不足も
あり、誤解を与えた。
⑦教育委員会と、

建設部には、学校給食会
や栄養士部会の方々の協
力を頂きながら、事業の
推進を図るように指示し
ている。

建設行政について

議員 工事現場の竣工検
査について、南島原市の
建設業者の多くから、検
査の簡素化を出来ないも
のか、と聞くが、南島原
市の建設行政に合った、
検査方法に変更できない
ものか。

総務部長 県と連絡を取
りながら、効率化、簡素
化できる点はないか、取
り組みを進めたい。

議員 県のように必ずし
なければならぬのか。
総務部長 必ずしなけれ
ばならない、という事では
ない。

※現場の施工方法につい
て・建設現場の発注の仕
方については、紙面の都
合上割愛します。

